

2024年度 ニチキッズ古川えきまえ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月15日（水）～2月17日（月）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月28日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則った保育園づくりに努めた。子ども一人ひとりに合わせた愛のあるまなざしを共有することで、「子ども主体」の保育を職員が同じ目線で行うことができた。
子どもの発達援助	子どもが、自身の成長を実感し達成感を得られるよう、やってみたいという気持ちを第一に、見守ったことで成長を促すことができた。今後も子どもの意思を最優先し、柔軟な保育を展開していきたい。
保護者に対する支援	傾聴と共感を大切にし、価値観を押し付けることなく多様性を認め接していった。保育参観や発表会では、保護者同士のコミュニケーションが取れるよう保護者も一緒に活動や発表に参加し楽しめるように内容を工夫した。
保育を支える組織的基盤	定期的にディスカッションやミーティングを行い、子ども一人ひとりに合わせた援助を共有することで、「子ども主体」の保育を実践できた。又、月1回園内研修を行い知識を高める事により保育の質の向上に努めた。

総評
<p>園の保育理念や保育方針を理解した上で、子どもが、自身の成長を実感し達成感を得られるよう、やってみたいという気持ちを第一に、見守ったことで成長を促すことができた。定期的にディスカッションやミーティングを行い、職員間の意見交換をしたことで深い学び合いや想像につなげることができた。</p> <p>次年度に向けては、できたことを子どもと共に喜び、子どもの心の動きややる気につながる軸を見つけられるように、記録の振り返りを大切に行っていく。</p> <p>また、外部の各種研修に参加して得た知識を園内研修などで職員間共有し、園全体のスキルの底上げを行ってきたい。</p>